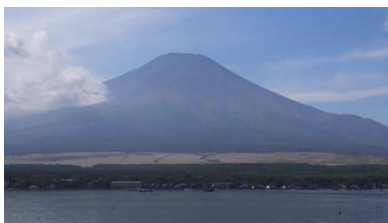


エルミタージュの前庭にある桜の木々はだいぶ前から黄葉が目立ち、ちらほら落葉し始めたと感じたたん、毎日のように芝生に降り敷いています。大半は茶色になってしまいましたが、そのうちのほんのいくつかは赤くなり、チラッと輝きを添えてくれます。秋ですねエ。

となると、そわそわしてしまい、紅葉狩りに行きたい気分になっていきます。接骨院でマッサージを続けてもなかなか埒が明かない股関節の痛みのためにも、温泉にちょっとでも浸かりたい気持ちも出てきます。そういう訳で、連休の前に、混まないうちが良いでしょう。急遽、8日の夕方になって、「明日、箱根に行きましょう」と友人を誘ってしまいました。

翌朝、横浜では薄曇りで、空にモヤがかかっているようだったのに、高速を走っているうちに丹沢の向こうにうっすらと富士の頭が見えました。やっぱり、晴れ女だった！御殿場で高速を降りたら、どうせ行くなら、豪勢に富士山を眺めようということになり、山中湖を目指しました。御殿場から富士山に向かう道で眺める富士山の大きいこと！山中湖ではお気に入りのカフェからいつも富士山を眺めますが、あいにくその日は休み。湖岸に立って、富士山を満喫しました。山中湖は富士五湖の中では標高が一番高いので、一番早く紅葉が始まるとのことで、ドウダンつつじ、カエデなどが赤く色づいて、青空、緑の木々とのコントラストが綺麗でした。富士山に少し雲がかかって来ました。



箱根に戻る途中、乙女峠の手前で車を止めて、富士山を振り返ると、そこでも富士山が、私たちに頭を出して、お別れしてくれました。箱根では湿生花園にまず立ち寄りしました。「ほうとう」でも食べましょうと言っていたのに、友人はおにぎり、オカズ、お茶、果物、おやつとたっぷり用意して下さっていて、豪勢なお昼をテラスで楽しみました。食後、ガイドに案内してもらい、ただ枯れかかっている雑草にしか思えなかった秋の野の花を丁寧に眺めることが出来ました。おどろおどろしいのはアミメヘイシソウ、恐ろしかったのはトリカブト、綺麗だったのはミセバヤでした。いろいろ教えていただきましたが、覚えることが出来ないのが残念です。その後、仙石原に広がるススキの原を散策しました。陽に照らされて黄金に輝き、風になびいて白銀に光るススキの美しさにうっとりしてしまいました。ススキの高原の中を、風に吹かれて歩くだけでも、気持ちが伸びやかになって来ました。



最後に日帰り温泉に立ち寄りしました。奥湯本にある天山です。江戸時代の、歴史にも絡んでいる商家の屋敷を用いた趣のある湯治場です。温度の違う六つの岩風呂が楽しめるのです。露天ですから、緑の木々の隙間から、夕暮れの空を眺め、ゆっくり湯浴みをしました。行楽のメはやはり温泉でした。